

# 経営改善に向け着々と

健全な経営と市民の保健、医療、福祉の拠点施設を目指す、経営改善に取り組む水沢病院。老朽化した設備を更新するなど市民の期待に応えられる病院に向け、着々と取り組みを進めています。

## 最新式CT装置を導入

昨年12月26日からCT（X線コンピュータ断層撮影）装置が最新式のものになりました。

この装置は胸部から骨盤まで約10秒で検査を行うことができます。精密な画像が得られることから、外傷や緊急の場合でもすばやく検査ができるという特徴があります。

全身のさまざまな病巣を発見することができ、特に頭部、胸部、肝臓・腎臓などの腹部には高い検査能力を持っています。また従来のCTで対応できなかった心臓検査や全身血管の検査も可能になりました。

新しい装置で診療を受けた患者からは「息を止める時間が短くてとても楽にできた」という声をいただいています。

## 精神科の療養環境改善

精神科病棟は築後37年が経過し、療養環境の面でも改善が望まれていました。本年度、国の補助を受け、休棟していた6階の病棟を精神科病棟に改修し、3月中旬に移動の予定です。

改修後の病棟は窓に格子もなく、外の景色が患者の病氣回復に役立つものと期待されます。食堂や談話室も設置。各病室には身体合併症に対応できる設備や患者のプライバシー確保のためのカーテンがあるなど一般病棟に近い形で運営する方針ですが、一般病棟への移動は一定の制限を設けます。

うつ病治療など精神科医療の果たす役割は拡大しており、療養環境の改善に患者や家族から大きな期待が寄せられています。



検査能力が向上した最新式のCT装置

## 企業広告で増収を図る

平成19年度から病院が発行する診療費の領収書裏面を活用し、企業広告を掲載します。これは入院・外来窓口用と自動入金機外来用の2種類の領収書の裏面に、企業の広告を有料で掲載し、収入を確保しようというものです。

昨年12月から広告主となる企業を募集をし、すでに掲載企業が決まりました。4月からは広告が入った領収書に変わります。水沢病院を利用いただく皆さんには、ご理解をお願いします。

■問い合わせ 総合水沢病院管理課（☎3833）へ

# 高校サッカーで全国制覇

## 江刺一中出身の大山選手（盛岡商）も活躍



大山 徹さん（18）  
江刺区岩谷堂字向山  
盛岡商業高校3年

1月8日に決勝が行われた第85回全国高校サッカー選手権大会で、盛岡商業高校が岩手県勢初優勝を飾りました。優勝メンバーの1人で、決勝戦で同点ゴールをアシストした本市在住の大山徹選手（MF）に、お話を伺いました。

―全国優勝の実感は  
最初は全然実感がわきませんでした。盛岡で優勝パレードをした時に、多くの人たちが来てくれたのを見て「優勝したんだな」と感じました。―決勝戦では見事な同点ゴールのアシストでしたが後半に交代出場して最初の

ボールタッチ。先生（斎藤重信監督）から「前に出る」と言われていたので、得点に絡むことができて良かった。スピードが自分の持ち味。サイドの守備が遅いのが分かっていたので、そこを狙いました。―全国大会では1ゴール、2アシストの大活躍でした。―初めてチームに貢献することができたと思います。先生に恩返しができました。―市内の子もたにエールを自分の後をついて来てくれるような選手が出てくれい。頑張れば「岩手でもできるんだ」ということを分かってもいいですね。

# 大臣表彰

教育の分野で長年社会に大きく貢献し、このほど表彰された2人を紹介します。

## 文部科学大臣表彰



小野 伊豫さん（77）  
水沢区佐倉河字荒谷

昭和60年から水沢市地域婦人団体協議会長を19年にわたって務め、女性教育の実践活動などに尽力

## 文部科学大臣表彰



山折 昭磨さん（72）  
水沢区東町

昭和46年からあけぼの幼稚園長を務め、県私立幼稚園連合会長などを歴任し幼児教育推進に尽力

# 市の出来事から

## 掛川市と災害時相互応援協定結ぶ



両市役所で同時に行われた調印式。左上の画面内は掛川市の戸塚市長

市は1月9日、静岡県掛川市と災害時相互応援に関する協定を締結しました。協定は、一方の市が地震などで大規模な被害を受け独自の対応が十分にできない場合、もう一方の市が支援する場合、食料や生活必需品の供給、救援車両の提供、消防・医療従事者の派遣などが盛り込まれました。

調印式は両市の市役所で行われ、掛川市の戸塚信也市長と本市の相原正明市長が同時に協定書に署名、押印。インターネット中継を介し、それぞれ署名した協定書を確認しました。この協定は旧胆沢町と静岡県の旧大東町が締結していましたが、両町がそれぞれ合併したことから新たに締結したものです。

## 保育料滞納解消に保育園長が一役



相原市長から委嘱状が交付されました

保育料の滞納を解消する目的で設置された市保育料納付指導員の委嘱状交付式は1月12日、市役所で行われ、市内の私立保育園17園の園長に委嘱状が交付されました。納付指導員は、市の非常勤特別職で、主に滞納者への催告状の配布や市担当者が行う納付相談への立会いなどを行います。この取り組みは旧水沢市で行っていたもので、一定の成果を上げていたことから、市全体で行うことにしたものです。

市は保育園と協力しながら、さらに収納率の向上を図ります。

## 江刺の高橋さん満100歳を祝う



佐藤区長（左）から記念品を受け取る高橋さん

江刺区愛宕字西下川原の高橋サツさんが満100歳を迎えた1月25日、佐藤雅士江刺区長が入院先の病院を訪問し、記念品を贈りました。

高橋さんは明治40年、水沢区真城生まれ。17歳で結婚し、2男2女に恵まれました。現在は二女の菊池ノブ子さん（67）夫妻と孫の4人家族で、昨年5月から持病の治療のため入院しています。耳が遠いものの、好きな食べ物を聞かれ「何でも食べる」としっかりと受け答えをしていました。